

小中一貫教育の完全実施に向けて

2015年（平成27年），福山市ではいよいよ小中一貫教育が完全実施となります。

これまでの3年間に準備期間とし，駅家南中学校区では，学習習慣と集団づくりを柱とした小中9年間のカリキュラムづくり，小中全教員による研修会の実施，また，部活動や授業を通して児童と生徒の交流などさまざまな取組みを進めてきました。また，推進する教職員の組織も生徒指導部と学習指導部の2つに集約し，具体的な内容を決定し，各小中学校で着実に取り組んできました。

このように小中学校間で連携を図りながら，教職員，児童・生徒が力を合わせ，中学校区の目指す子ども像である，『学びあい 支え合い 主体的に活動できる児童生徒』の育成をめざし，引き続き取組みを進めていきます。

乗り入れ授業（英語活動）

中学校の英語科 西村野亜教諭が，7月，10月，11月に各小学校に行き，英語活動の授業を行いました。小学校では，中学校の学習方法や授業の約束などを取り入れながら，丁寧に楽しく指導しました。

宜山小学校



ペアで英語を使った道案内に挑戦しています。



「よくできました。」
大きな〇をもらいました。

駅家小学校



みんな一生懸命に取り組みました。



ALTシドニー先生も一緒でした。

生徒会「いじめ撲滅」シュプレ

11月14日（金）中学校生徒会執行部の生徒が、『いじめ撲滅』のシュプレを各小学校で行いました。いじめはいつでも絶対許されないことを訴え、中学校区みんながいじめをなくす努力を続けていくことを確認しました。

宜山小学校



ステージから思いを力強く訴えました。



児童会からの心のこもったお礼や決意発表がありました。



いじめを絶対に許さないことを、みんなで確認し合いました。

駅家小学校



気持ちを込め、みんなで訴えました。



アピールをしっかりと聞いてくれました。



アピールを通して、ともに行動することを確認し合いました。

「（仮称）ふるさと学習」が始まります！

来年度より、「（仮称）ふるさと学習」が福山市内の小中学校でスタートします。この学習は、小中一貫教育の基盤となる学習と位置付け、自分たちの生まれ育った「福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」の育成をめざして実施します。

小中学校の各教科の授業の中で、右の副読本を活用し、福山を「知る、体験する、実践する」ことを通して、福山を大好きになることを目的にしています。自分の夢を抱き実現させながら、福山で、日本で、世界でたくましく生きていく人に成長することを願っています。

